

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	2	安心して暮らせる支えあいのまち
基本施策	1	助けあい支えあう福祉社会の実現
施策	6	地域福祉
基本方針		
市民、社会福祉協議会、福祉サービスを提供する団体、民生・児童委員等と市の連携・協働により、「地域で助けあい、支えあう福祉のまちづくり」を推進します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
民生・児童委員(社会福祉委員)活動の支援	計画どおり完了	A	A	B	レベルアップ

3 施策評価結果

<p>施策6「地域福祉」では、1事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、については、A(適切なもの)と評価している。 また、有効性(成果)については、民生委員の欠員が生じていることから、B(課題があり、今後、改善が必要なもの)と評価しているが、欠員が生じている地域は、周辺地域の委員に協力をいただいております、引き続き欠員となっている地域の委員確保に努めていくこととしている。</p> <p>本施策の基本方針は、「地域で助けあい、支えあう福祉のまちづくり」を推進することであり、「民生・児童委員活動の支援」では、民生・児童委員の家庭訪問による見守り・相談や、市及び社会福祉協議会主催事業への協力等に対する支援を行うとともに、東京都民生児童委員連絡協議会への出席及び研修参加を通して、民生・児童委員として、必要な専門知識の習得を図り、地域福祉の推進を図るために必要な活動支援と人材育成支援などを実施したことから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

1.基本項目		作成部署		福祉健康部		社会福祉課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
民生・児童委員(社会福祉委員)活動の支援		昭和 49 年		継続		自治事務	
00				直営		○	
01		年					
02		年					
03		年					
04		年					
05		年					
関連課							
基本目標2 安心して暮らせる支えあいのまち		施策区分		6 地域福祉		管理No. 1	

2.事業の概要

施策の基本方針	市民、社会福祉協議会、福祉サービスを提供する団体、民生・児童委員等と市の連携・協働により、「地域で助けあい、支えあう福祉のまちづくり」を推進します。
事業内容	地域福祉の「要」として、訪問活動、各種相談など、地域に根差した福祉活動ができるよう、人員確保などのさまざまな支援に取り組みます。
根拠法令	民生委員法
条例	
要綱等	羽村市社会福祉委員設置規則、羽村市民生児童委員協議会要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	民生・児童委員活動の支援	同左	同左	同左
	民生・児童委員 51人 (平成30年12月末現在)	民生・児童委員 52人 (一斉改選)	民生・児童委員 52人	民生・児童委員 52人
	訪問活動、各種相談の実施	同左	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	300 H	1人	350 H	1人	300 H	1人	300 H
主事・主任職	1人	120 H	1人	180 H	1人	120 H	1人	120 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	12,306	12,412	12,454	12,259
人件費(係長職)	1,442	1,683	1,442	1,442
人件費(主任・主事職)	379	568	379	379
総事業費(合計)	14,127	14,663	14,275	14,080
国庫支出金				
都支出金	5,873	5,987	5,883	5,883
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	8,254	8,676	8,392	8,197
財源内訳(合計)	14,127	14,663	14,275	14,080

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	264	円
イ 対象者	52	人における1人あたりのコストは、	281,981	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
※ 対象者:				のコストは

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

民生・児童委員協議会役員会及び定例会を開催し、各委員が担当地域において行う家庭訪問による見守りや相談、市及び社会福祉協議会主催事業への協力等に対する支援を行ったほか、東京都民生・児童委員連絡協議会への出席や研修参加への支援を行った。
令和元年12月の一斉改選に伴い、新任委員候補者の選定を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	12,412	-	12,412	11,207	90.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	350 H	1人	500 H
主事・主任職	1人	180 H	1人	60 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○民生・児童委員活動の支援 ○民生・児童委員 52人 ○訪問活動、各種相談の実施		○民生・児童委員活動の支援 ○民生・児童委員 41人、欠員11人(R2.3現在) ○訪問活動、各種相談の実施

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

家庭訪問による見守りや相談、市及び社会福祉協議会主催事業への協力等に対する支援や、東京都民生児童委員連絡協議会の出席及び研修参加を通して、民生・児童委員として、必要な専門知識の習得を図り、地域福祉の推進を図るために必要な活動支援と人材育成支援につながった。また、欠員が生じている地域は、周辺地域の委員に協力をいただき、活動をしていただいた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

活動しやすい体制づくりの構築、委員選定方法の見直しにより、欠員が生じないよう取組む必要がある。

【今後の取組方針】

民生・児童委員が活動しやすい新たな体制づくりの構築や支援、委員選定方法を見直し、適任者確保に継続して努めていく。